

坂出市新庁舎建設市民会議第5回会議 議事録

日時 平成25年2月27日(水) 13:30 ~

場所 本庁舎3階委員会室

議題

1	坂出市新庁舎建設基本構想(案)について
2	今後の予定等について

1. 坂出市新庁舎建設基本構想(案)について

(内容) 事務局にて作成した坂出市新庁舎建設基本構想(案)について検討をおこなった。

(質問) 10ページの「最近の他市庁舎建設の計画事例との検証」の表があるが、阿南市と観音寺市の人口は大体どれくらいなのか。坂出市の職員数が人口に対して少なすぎるのではないか。

(回答) 阿南市は平成24年時点で約78,000人である。
坂出市の想定職員数が218人と人口に対して少ないのは、8ページにも記載しているとおり、新庁舎の想定職員数を現本庁舎の配置部署を基準としており、教育会館と合同庁舎の職員数を含まないため。教育会館と合同庁舎の職員数を含めたら約320人となり、観音寺市の職員数とほぼ同じになる。

(意見) 5ページの「3.新庁舎建設の基本方針」の「3 経済性と環境への配慮」の「(1) 華やかな設計を排し、建設費の抑制に努める。」について、華やかな建築とはどのようなものを指すのかわかりづらい。丸いものがだめなのかカーテンウォールでガラス貼りなのが大めなのか。建設費の抑制を言いたいのであれば、「(2) ~経済的で環境にやさしい施設とする。」に含まれるのではないか。また、項目の1.2.3.の他のすべての文末が「~施設とする。」という表現になっているのに、この項目のみ「~務める。」で終わっているのも違和感がある。

(回答) 今後も全ての検討においても、経済性への配慮は常に念頭に置いておくべきものとして、敢えて表現を変えて記載しているが、表現方法については庁内検討委員会で報告し再度検討していきたい。ここで想定している「華美」というものは、バブルの最盛期に建築された庁舎にはホテルと見間違うようなゴージャスな建築になっている事例もあり、そのような見栄え重視の建築への反省から「華やかな設計を排し」という語句を使用している。

(意見) 「華やかな設計を排し~」は非常に優しい文言の使い方と感じ、(2)と(3)のまとめのような表現になっているので、文末が他と異なってもこのま

まで良いように感じる。

(意見) 5 ページの「2.新庁舎建設の基本理念」の「安全・安心で利用しやすく人と環境にやさしい庁舎」とあるが、「安全・安心で市民と環境にやさしい庁舎」と表現した方がわかりやすいのではないか。利用しやすい庁舎にすることはあたり前のことであり、明記するほどのこともないと思う。

また、まず第一は市民のための市庁舎でなければならないということを表に出すべきだと思う。

(回答) 庁舎は市民の方が多く利用されるが、庁舎を利用するのは市民だけではないので、このような表現にしたが、再度庁内検討委員会で検討していきたい。

(意見) 11 ページの「6.建設スケジュールと財源」の中で、基本構想の後は一番大事な基本計画案の策定になっており、基本計画を作り上げていく中ではいろいろな細かな話が出てくると思うので、基本計画についても市民会議で時間を割いていただき、注力していきたいと思う。

(回答) 坂出市新庁舎建設市民会議設置要綱の第2条の中で、新庁舎の基本計画に関する事項についても市民会議の所掌事務となっており、引き続きこれまで以上に市民会議の委員の皆様には検討に係わっていただくことになると思うので、ご協力をお願いしたい。

2. 今後の予定等について

(内容) 今回出たご質問・ご意見については庁内検討委員会の検討結果をまとめ、市民会議を開催せずに文書で結果の報告のみをおこなうことで了承を得た。今後は3月中旬頃に市議会への報告をおこない、それ以降に約1か月間のパブリックコメントを実施する予定にしている。パブリックコメントの結果次第では再度市民会議での検討をお願いする可能性もある。

(質問) なし